

小中学校の適正配置に係る地域との意見交換会

意見交換会日程

月 日	曜日	統合対象校	会 場	時 間
令和6年 3月23日	土	侍浜中学校	侍浜市民センター 研修室	13:30~
		宇部中学校	宇部市民センター 会議室	16:00~
令和6年 3月24日	日	大川目中学校	大川目市民センター 集会室	10:30~
		夏井中学校	夏井市民センター 営農研修室	13:30~
		三崎中学校	三崎公民館 会議室	16:00~

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 説 明

中学校の適正配置（統合計画）について

4 意見交換

5 閉 会

1. 「小中学校の適正配置に関する基本方針」概要（平成30年3月策定 抜粋）

（1）小中学校の小規模化にかかる課題（教育的観点からの課題）

全国的に少子化が進展する中、本市においても、今後6年間で児童生徒数は約10.5%減少する見込みであり、継続的に少子化が進展することが見込まれている。

少子化は学校の小規模化など教育環境に大きな影響を及ぼすものであり、それに伴う教育上の諸課題がこれまで以上に顕在化することが懸念される。

小規模校には、児童生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすいなどのメリットがある一方で、次のようなデメリットが生じている。

- ・ 集団学習の実施に制約が生じる。
- ・ 部活動の種類が限定される。
- ・ 免許外指導の教科が生まれる。
- ・ 男女比に偏りが生じる。 など

（2）小中学校の適正規模

学校の適正配置を検討するうえでの基本となる小中学校の適正規模は、次のとおりとする。

区分		当市の適正規模	前方針	法令
小学校	1学年	1学級以上	1～3学級	2～3学級
	全校	6学級以上	6～18学級	12～18学級
中学校	1学年	1学級以上	1～6学級	4～6学級
	全校	3学級以上 生徒数 概ね 40人以上	3～18学級	12～18学級

小学校、中学校とも、学年が途切れず、入学式、卒業式などの学校行事が毎年継続されること、集団活動の実施に際し一定の人数が確保できることなどを考慮し、最低限の単式学級規模である全学年1学級以上とした。中学校については、学級編成の基準から、学級数は確保されても極少人数の学校が生じ得ることから、全校生徒数の下限を要件に加えた。下限の人数の目安は、中学校としての集団活動・行事の効果的な実施、体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施の制約、部活動の種類が限定されること等を考え、中学校1学級の生徒数の基準である40人とした。

なお、適正規模の上限については、今後の児童生徒数の推移からみて、設定しないこととした。

(3) 基本の方針

ア 学校統合による適正規模の確保

適正な学校規模を確保する方策として、学校の統廃合、通学区域の再編が考えられるが、現状の中で通学区域の再編により実現することは困難であり、学校統合を基本に進める。学校統合に当たっては、将来を見据え、再統合することがないように統合先を考慮する。

イ 適正規模未満の学校の存続

地理的条件など様々な要因によって、適正規模未満の学校を存続することも考慮する。

ウ 小学校の存続の優先

小学校は、現に複式学級を有する学校があるが、学力面のみをみるとデメリットになり得ないことや地域との関わりが強いことを考慮し、また、小学校卒業後の進学先が複数の中学校にまたがることのないよう、小学校の存続を優先し、地域から、先に小学校が無くなり、中学校が存続するケースは回避する。

(4) 計画期間及び対象校

計画期間	対 象 校
前期計画期間 (平成 30 年度～令和 4 年度)	霜畑小学校、来内小学校、宇部中学校
後期計画期間 (令和 5 年度～令和 9 年度)	大川目中学校、夏井中学校、侍浜中学校、三崎中学校

2. 前期計画期間の進捗状況

対象学校名	進 捗 状 況
霜畑小学校	山形小学校に統合（令和 3 年 4 月 1 日）
来内小学校	前期計画期間内の統合を見送り 〔 令和 8 年 4 月に山形小学校への統合について、 保護者・地域が概ね合意（R5.3） 〕
宇部中学校	前期計画期間内の統合を見送り 保護者は、後期計画期間内での再検討を希望

3. 適正規模の基準及び基準未達の学校

(令和5年11月1日現在)

区 分		当市の適正規模	適正規模に満たない学校		
			R5.11 (現在)	R8.4 (目標年)	R9.4 (計画最終年)
小学校	1学年	1学級以上	夏井小学校 平山小学校 宇部小学校 久喜小学校 小袖小学校 山形小学校 来内小学校	大川目小学校 夏井小学校 平山小学校 宇部小学校 久喜小学校 小袖小学校 山形小学校 来内小学校	大川目小学校 夏井小学校 待浜小学校 平山小学校 宇部小学校 久喜小学校 小袖小学校 山形小学校 来内小学校
	全 校	6学級以上			
中学校	1学年	1学級以上	—	—	—
	全 校	3学級以上 生徒数 概ね 40人以上	大川目中学校 夏井中学校 待浜中学校 宇部中学校 三崎中学校	大川目中学校 夏井中学校 宇部中学校 三崎中学校 山形中学校	大川目中学校 夏井中学校 宇部中学校 三崎中学校 山形中学校

《市内小中学校の児童生徒数、学級数の推移より》

4. 後期計画期間の進め方

「小中学校の適正配置に関する基本方針」に基づき、児童生徒の教育環境の充実を図ることを目的とし、次のとおり後期計画期間の取組みを推進します。

また、統合を進めるにあたっては、「小中学校の適正配置方針に定める基本的方針」(P2)に沿い、子どもたちにとって望ましい教育環境を整えるため、保護者や地域住民と協議を重ね、合意形成を図ることに配慮します。

(1) 統合対象校

前期計画期間内の統合を見送りとした来内小学校、宇部中学校に加え、後期計画期間内の統合対象校である、大川目中学校ほか3校の中学校の統合を進めます。

なお、待浜中学校は、後期計画期間内は適正規模を満たす見込みですが、令和11年度以降の生徒数を勘案し、基本方針どおり後期計画期間内の統合を進めます。

また、基本方針において統合対象校としていない山形中学校は、後期計画期間内

に生徒数が適正規模未滿となる見込みですが、地理的条件を考慮し、後期計画期間内の統合対象校には加えないものとします。

前期計画 (H30~R4)	小学校		中学校	
	児童数が10人前後の極小規模校	<u>霜畑小学校</u> <u>来内小学校</u>	全校生徒数が1学級の生徒数の基準に満たない過小規模校	<u>宇部中学校</u>

後期計画 (R5~R9)	小学校		中学校	
	前期計画期間内に統合を見送った学校	<u>来内小学校</u>	前期計画期間内に統合を見送った学校	<u>宇部中学校</u>
後期計画期間内又は、後期計画期間満了後、数年以内に適正規模未滿となる学校			大川目中学校 夏井中学校 侍浜中学校 三崎中学校	

※下線の学校は、前期計画期間内の統合を見送りとした学校

(2) 対象校の統合計画

後期計画期間における対象校の統合の時期及び統合先については、保護者・地域の合意形成と、統合に係る両校の準備期間や受入校の事務的な負担及び児童生徒の通学距離等を総合的に勘案し、次のとおりとします。

統合目標時期	対象校	統合先
令和8年4月	来内小学校 (5)	山形小学校 (43)
	宇部中学校 (32) 三崎中学校 (33)	長内中学校 (232)
	大川目中学校 (32) 夏井中学校 (33) 侍浜中学校 (39)	久慈中学校 (375)

※ () 内の数字は統合目標前年度 (令和7年末) の児童生徒数の予想値

後期計画期間（令和5年度～）の取組状況

時 期	対 象	内 容
令和5年 4月18日～26日	保護者・地域住民	懇談会 5地区 後期計画期間の進め方について
6月下旬	保護者	アンケート調査 260世帯/308世帯（回答率84.4%）
7/31～8/4	保護者	意見交換会 5地区
11月下旬	保護者 (統合予定先中学校及び関係小学校)	適正配置（統合計画）周知チラシ配付
令和6年 1月16日～26日	保護者	意見交換会 5地区
3月23日～24日	地域住民	意見交換会 5地区

今後の予定

年度	時 期	対 象	内 容
R5	令和6年3月	地域住民	意見交換会（進捗状況等）
R6	令和6年4月	保護者	意見交換会（意向集約のお願い） 令和8年4月の統合について
	令和6年7月	保護者	統合に対する保護者の意向確認
	令和6年8月～	地域住民	意見交換会
	令和6年11月	地域住民	統合に対する地域の意向確認
	令和7年3月	保護者・地域住民	統合同意書提出
R7	令和7年4月	保護者・地域住民	閉校記念事業に関する実行委員会等の組織化
	令和7年4月～ 令和8年3月	保護者・地域住民	閉校記念事業準備 記念誌編さん事務 等
	令和8年3月	保護者・地域住民	閉校記念式典
R8	令和8年4月		統合目標年

以下、同意の意向の場合

※ 話し合いの状況等により変更となる場合があります。

保護者との話し合いの状況

1月16日から26日にかけて、統合対象校の中学校及び関係小学校の保護者（5地区）と意見交換会を開催しました。

各地区の主な内容は次のとおりです。

1月16日（火） 統合対象校：夏井中学校 参加者：15名（うち保護者9名）	
質疑・意見	回答
制服等の指定学用品の購入支援の運動着は2着としてほしい。	制服一式（女子生徒）、運動着1着で考えている。他の地区の意見等を踏まえ考えていく。
統合にあたり、校名等を一新してはどうか。	教育委員会の考えとしては、統合予定先の学校や保護者の負担など考慮し、校名、校歌、制服等は変更しない方針としておりご理解をいただきたい。
部活動の選択肢が広がるが、統合のタイミングで再選択できるか。	統合により部活動の選択肢が増える状況となるため、生徒が再度選択することができる機会を設けることなどについて、学校と協議を進めていきたい。
久慈中学校の体育館は各部活動の使用時間の割当があるが、活動充実のため、夏井中学校の体育館などを活用してはどうか。	活動場所の不足などの課題は認識しており、別な地区の体育館を活用することも有効な手段として考えられるので検討していきたい。
希望する部活動がある学校に通学できるよう学区外就学を柔軟にしてほしい。	学区外就学については、進学先の中学校に現在活動している種目の部活動がない場合など特別な事情がある場合に許可しているものであり、個別のケースは別途相談いただきたい。
久慈中学校は浸水区域内にあり安全面で不安がある。	市の津波避難計画が昨年秋に策定されたところであり、現在その内容を踏まえ、学校で避難計画の更新を進めている。 防災教育と避難訓練を徹底し、生徒の安全を確保する。
久慈中学校の周辺道路が狭く、通学に係るスクールバスや親の送迎、有事の際の避難経路の確保など心配である。	学校周辺の道路が狭いことなどについては課題として認識しており、避難経路と併せ、必要な対策を考えていきたい。
統合後も小規模校の良さ（メリット）を活かしてほしい。	小規模校ならではの良さがあることは理解している。 統合にあたっては可能な限り良さを活かせるよう対応策を検討していきたい。

1月18日(木) 統合対象校：三崎中学校 参加者：23名(うち保護者16名)	
質疑・意見	回答
統合が既に決まったことのように聞こえている。説明や周知の際は文書や資料づくりなど配慮してほしい。	統合は保護者、地域の方々の同意を前提として進めることとしており、誤解があった点についてはお詫びし申し上げる。 今後より丁寧に事務を進めるよう努める。
大規模校への通学となり、いじめにあわないか心配である。しっかりと取り組んでほしい。	子どもたちの集団は日々変化することがあり、大規模校に限らず、市内の小中学校でも様々な事例がある。 注意して子どもたちを観察することや定期的に子どもたちからアンケートを取るなど、実態の把握と早期の対応、子どもたちへのいじめ防止対策などに取り組んでいる。 相談体制、解決の方策をしっかりと講じるため学校とも協議し準備していく。
特別支援学級と通常学級の交流は継続してほしい。サポート員の配置など支援体制を充実させてほしい。	子どもたちの学びのニーズに応じ、特別支援学級と通常学級との交流を実施している。 支援が必要な子どもに対して、各校では先生方がきめ細かに対応している。また、必要に応じてかがやき支援員を配置し支援している。
学校行事は地域の方々も楽しみにしており、学校が統合しても地域の活気が継続するようにしてほしい。	学校が地域にとっても重要な施設であることは十分認識している。保護者、地域の方々とは話し合いを重ね良い方法を探していきたい。全国的に様々な活用事例もあり、参考としながら一緒に考えていきたい。

1月22日(月) 統合対象校：侍浜中学校 参加者：12名(うち保護者8名)	
質疑・意見	回答
久慈中学校は老朽化が進んでいると感じる。建設計画はあるのか。	久慈中学校の校舎を新しくする計画は現時点では持ち合わせていない。久慈湊小学校、山形小学校の建設を予定しており、それ以降は学校の老朽化の状況など勘案し検討していきたい。 当面は既存施設の維持補修を行い環境整備する方針である。
大人数の環境に馴染めない子どもへの支援策をしっかりとしてほしい。	環境が変わることによる子どもへの負担に配慮して対応していきたい。 教員数は学級数により法律で定められているところであるが、加配制度などを活用しながら、きめ細かな指導ができるよう進めていきたい。
中学2年生の時に統合となった場合は、そのまま3年生でも同じクラスになるのか。 また、例えば統合前の学校単位でクラス編成することはできるのか。	現在の状況では、第2学年で統合した場合、第3学年まで同クラスとなることが考えられる。第2学年でクラス替えをすることで新しい人間関係を構築する機会となる。 さらに、一定規模の生徒数のある学校では、部活動をはじめ、委員会活動や各種行事など、クラスを超えて広く活動する機会が増え、「人間

	<p>関係を構築する力」の育成に繋がると考えている。</p> <p>一方、第3学年時に統合となる生徒は一層の配慮が必要と考えており、今後検討していきたい。</p>
<p>統合前からの先生が統合先の学校に配置になるとのことだが、それでも心配である。</p>	<p>必ずしも侍浜中学校の先生が担任となる確約はできないが、教職員全員で生徒に寄り添って対応していきたい。</p>
<p>スクールバスには職員などが添乗するのか。また、急に乘れない状況などの場合の連絡など体制はどうなるのか。</p>	<p>他地区と同様に添乗員はなく運転手のみの対応と考えている。</p> <p>急にバスに乘れなくなった場合などの様々な不安への対応策については、今後話し合いを深めていきたい。</p>
<p>侍浜はスクールバスを2路線検討しているようだが、地域が広く、バスを待つ時間や乗っている時間が長く、負担が大きいのではないか。</p>	<p>最初に乗る生徒の乗っている時間がどうしても長くなるため、現在、時間短縮に向けルート等を検討している。</p> <p>乗降場所は現時点の大まかな案として停留所を中心に示しており、保護者の意見等を伺いながら詳細を詰めていきたい。</p>
<p>現在のとおり、角柄などはタクシー利用とし、また、他地区は市民センターに集合するなどしてスクールバスを運行するようにはどうか。</p>	<p>市民センターに集まりそこからバスに乗ることも有効な手法であると考えている。</p> <p>様々なケースがあると思うので、課題提起していただき、解決策を一緒に考えていきたい。</p>
<p>意見交換会の参加者が少数であり、開催方法や場所、時間など検討してほしい。</p>	<p>多くの保護者から参加いただき意見を伺いたいと考えており、今後の開催場所等について内部で検討する。</p>

1月25日(木) 統合対象校：宇部中学校 参加者：16名(うち保護者12名)	
質疑・意見	回答
<p>保護者の意向はどのように集約するのか。多数決となるのか。また、小学校・中学校の保護者の意向を合わせ、連名で回答することとなるのか。</p>	<p>保護者の同意については、どこまでをもって同意とするのかなど、令和6年4月に保護者と協議していきたい。</p> <p>保護者の意向確認は文書により小中学校のPTA 会長に依頼し、令和6年7月末までに小中連名で回答をいただきたいと考えている。</p>
<p>令和6年7月末までの意向集約は期間が短いのではないか。</p>	<p>統合目標を令和8年4月とした場合、令和6年度中に保護者及び地域の方々から同意をいただき、令和7年度は記念事業や準備期間の1年間と考えスケジュールを示しており、ご理解いただきたい。</p>
<p>宇部小学校ではきめ細かに子どもたちに対応していただいている。統合予定校の長内中学校でも同様の対応(支援)が可能か。</p>	<p>大きな学校で馴染むことに時間がかかったり不安に思ったりする子どもたちについては、統合先予定校でも教職員がチームで取り組み、その子のニーズに合わせた支援が行われている。</p> <p>統合が決まった際は活動の交流の機会をつくるなどスムーズな統合に向け取り組んでいきたい。</p>

<p>スムーズな統合となるように統合先予定校の学校の生徒との事前交流などを実施してほしい。</p>	<p>文化祭、運動会やレクリエーションなど、前年度から交流する場などを学年に応じて設けていきたい。</p>
<p>三崎中学校の保護者との意見交換会の内容を知りたい。賛成や反対といった意見があったのか。</p>	<p>保護者16名から参加いただいた。 主な内容は、特別支援学級の支援体制の充実、大規模校でのいじめへの不安に対するしっかりとした対応、地域の元気が無くならないような閉校舎の有効な活用など意見があった。 統合に対して賛成や反対といった意見ではなく、不安な部分や統合となったらこうしてほしいなどといった意見であった。</p>
<p>野田中学校であれば統合に賛成する。選択制としてもいいのではないか。また、久慈中学校と長内中学校の生徒を1校50人程度となるよう小規模校に分散させることも検討してはどうか。</p>	<p>久慈市としては、久慈市の子どもたちの教育を他の自治体をお願いするという考えは持ち合わせていないためご理解をいただきたい。 小規模校に分散させることも考えていない。ご意見として受け止めさせていただきたい。</p>
<p>統合先予定校の保護者から統合が既に決まったことのように聞こえてきた。説明や周知の際は文書や資料づくりなど配慮してほしい。</p>	<p>前回（7月）の意見交換会で統合先の保護者にも情報を共有してほしいとの意見があったことを踏まえ、適正配置に係る教育委員会の方針等について周知を行ったものである。 保護者や地域の方々の同意が前提で進めるものであり、誤解される表現等があったのであればお詫びするとともに、今後注意して事務を進めていきたい。</p>
<p>統合に対し否定的な意見やその他少数意見に寄り添った対応が感じられない。</p>	<p>反対の意見に寄り添っていないとの指摘については配慮が足りていない点など反省したい。 子どもたちが高校に進学したり、社会に出た際に生きていく力を育むためにも、一定規模の集団の中で学んでいくことが必要と考えている。 統合は保護者、地域の方々の同意を前提に進めるものであり、強制するものではない。</p>
<p>保護者の意向確認で統合に同意しなければ、今回の統合計画は無くなるのか。</p>	<p>保護者の同意が得られないという状況であれば、令和8年4月の統合はできないということになる。 その後、宇部中学校をどうするかについては、後期計画期間内の令和9年度までの間で機会を見ながら協議していくこととなる。 また、現在の「小中学校の適正配置に関する基本方針」は令和9年度までの計画であり、次期計画を策定する際には、改めて検討委員会などを立ち上げて議論することとなる。</p>

1月26日(金) 統合対象校：大川目中学校 参加者：24名(うち保護者20名)	
質疑・意見	回答
<p>保護者の意向はどのように集約するのか。保護者が2分される状況が心配される。また、小中学校のPTA会長の連名での回答は会長の負担が大きいのではないか。</p>	<p>賛成、反対がある中で保護者の意向を集約することについては本当に大変な負担を強いることとなると認識している。</p> <p>今後どのような意向集約の方法が良いのか相談させていただきたい。</p>
<p>統合に係る実行委員会の組織化などを考慮すると、保護者の意向集約が令和6年7月末では遅いのではないか。</p>	<p>統合の時期を令和8年4月とした場合のスケジュールを示しており、各地区の状況により変更が生じるものと捉えている。</p>
<p>小規模校同士の統合は検討したのか。大人数の環境に馴染めない子どもや、支援が必要な子どものために小規模校を1校残してほしい。</p>	<p>平成30年の基本方針の策定にあたっては、検討委員会を組織し様々な視点から検討を重ね、小規模校同士の統合についても、一時的に一定規模を満たすが、その後、再度統合を考えなければならなくなる状況などを勘案のうえ策定したものであることをご理解いただきたい。</p> <p>基本方針を策定した時点の予想を上回るスピードで児童生徒数が減少している状況である。</p> <p>大規模学校では、教職員数が多くチームとして対応することができ、不安がある子どもや支援が必要な子どもにもしっかりと寄り添っていく。</p>
<p>小規模校が良いと思い、また、子どもも大川目が大好きで統合には反対である。</p>	<p>統合して大規模となっても、子どものニーズに応じてしっかりと取り組んでいきたい。</p> <p>現在、久慈中学校、長内中学校でも様々な対応により子どもたちが適応できる環境づくりに努力しており、大規模校でどの子も頑張れる支援体制づくりに努めていきたい。</p> <p>意向集約に向け、家庭でも子どもと一緒に、もう一度考えていただきたい。</p>
<p>これからの子どもたちのことを考えると統合に賛成である。</p> <p>様々な不安や心配なことについて対応策を検討してもらっている。大人が心配する中でも、子どもたちは環境に慣れていくと思う。いい形で統合し、新しい仲間に出会えるよう進めてほしい。</p>	<p>より良い形で統合が進むよう保護者や地域の方々などから意見を伺いながら丁寧に進めていく。</p>
<p>学区外就学について、統合を機会に柔軟に対応してほしい。</p>	<p>統合を理由とした学区外就学は認められない方針に変更はなく、ご理解をいただきたい。</p>
<p>他の地区の情報も知りたい。意見交換の状況などをホームページなどで公表してほしい。</p>	<p>情報提供の仕方など内部で検討していきたい。</p>
<p>通学支援について、午後6時30分下校用のバスを検討しているようであるが、是非実現してほしい。</p>	<p>現在、午後6時30分発の下校便のバス支援を検討しており、今後皆様から様々ご意見伺いたい。</p>

<p>土日の部活動の送迎は保護者対応となっているが、土日であっても先生がついており部活動として支援してほしい。</p>	<p>現在、他の地区では保護者をお願いしている実態であるが、改めて検討していきたい。</p>
<p>部活動のユニフォームやその他を購入する必要がある場合、統合により保護者の負担が発生しないように支援してほしい。</p>	<p>ユニフォームなどの保護者負担の軽減について内部で検討していきたい。</p>
<p>統合について、子どもたちの意見を聞く場は考えているのか。</p>	<p>統合について子どもの意見を聞く予定は現在持ち合わせていない。子どもだけの意見ではなく、家庭で子どもと話し合い、意向を決めていただきたいと考えている。</p> <p>統合が決まった際には、統合に向けて子どもが不安に思うことなどに適切に対応するため、子どもの声を聞く機会について検討していきたい。</p>